



湖北



ライトアップされた長浜城の後ろから打ち上げられた花火

長浜

長浜城がクリスマスツリーに 戦国フェスのフィナーレ

長浜450年戦国フェスティバルのフィナーレイベント「ひでよしくんの戦国クリスマス大作戦」長浜城で日本最大級のクリスマスツリーを作ってみました。12月16日、長浜市公園町の豊公園で行われた。4月から8カ月にわたって開かれた一連のイベントは盛況の中で幕を閉じた。

この日は高さ約34mの長浜城をクリスマスツリーに見立ててライトアップ。子どもたちの手作り提灯で石垣を飾り、さまざまな色のライトで城が鮮やかに浮かび上がった。バルーンライトが10000個配布され、地元食材を使った料理店など約20の屋台が並んだ。「ひでよしくん」や「三成くん」などのゆるキャラもイベントを盛り上げた。クライマックスでは光と音で演出された長浜城の後ろから約5分にわたって花火が打ち上げられ、多くの観客が酔いしれた。

【長浜通信部・長谷川隆広】

県産100%ピクルス カフェ「小麦畑」、規格外野菜を活用

長浜

長浜市元浜町のカフェ「地産野菜 小麦畑」は、県産野菜を100%使った季節ごとのピクルスを製造し、主に県内で販売している。今後更に販路拡大を目指す。カフェは2020年2月オープン。野菜の長期保存が可能で、規格外で廃棄される野菜を有効利用する方法として、

江畑政明オーナーがピクルスに目を付けた。22年12月に構想し、23年2月には商品化。季節に応じて、キュウリや赤ダイコン、サツマイモ、ニンジンなど常時5種類以上を用意する。仕入れのおよそ半分は規格外の県産野菜で、蜂蜜が入った甘めの酢など4種類の酢を野菜に合わせて使い分ける。県内の道の駅やスーパーなどで販売中。1本799円。

江畑さんは「カレーやチーズにもぴったり。近江で育った野菜を季節ごとに楽しみながら、全国に発信していきたい」と話した。

【長浜通信部・長谷川隆広】

湖東

彦根

「ひこにゃん野帳」誕生 コクヨのロングセラーとコラボ

彦根市の人気キャラクターをあしらった「ひこにゃん野帳」が誕生した。同市とコクヨ工業滋賀、平和堂のコラボレート商品。コクヨのロングセラー「測量野帳」の表紙に、図柄を箔押ししたひこにゃん(黄、赤、緑)と、イベント「鳥人間コンテスト」にちなんだ飛ぶひこにゃん(水色、黒)の5種類がある。

書きやすく、「野帳」の愛好者を「ヤチヨラー」と呼ぶこともあるという。平和堂は「コンパクトで携帯性に優れており、メモのほかスケッチやスタンプ帳としてもぜひ活用ください」とPRしている。



カラフルな「ひこにゃん野帳」= 平和堂 HP より

彦根JCが70年誌 彦根城アピールや対談

彦根

彦根青年会議所(橋本一幾理事長)は創立70周年にあたり記念誌(A4判、69ページ)を発刊した。大名庭園から望む国宝・彦根城と、三原色の記念ロゴマークが表紙を飾っている。巻頭では1953年7月の設立趣意書を紹介。「大戦により打ちひしがれた日本経済も漸く再建の軌道に乗りつつあります」とした上で「活発なる実践活動を行ひ、良き経済人として、彦根産業の進運に寄与致したい」などと決意が書かれている。

橋本理事長と麻生将豊・日本青年会議所会頭の記念対談も載せている。橋本理事長は地元の彦根市、米原市、多賀町、甲良町、豊郷町、愛荘町には魅力的な文化遺産や自然があると指摘。現在は彦根城の世界遺産化を目指して活動中だとアピールしている。さらに歴代役員名簿や理事長の写真も収録している。

【彦根通信部・伊藤信司】

彦根青年会議所の70年記念誌。事業も写真で振り返っている